

「元気な浜田」をつくるための ロードマップ。

**平成27年2月
浜田市**

「元気な浜田」をつくるために3つの重点政策を掲げました。

「元気な浜田」 3つの重点政策

- I 産業振興、企業誘致などによる雇用の場の確保**
- II 子育て支援、教育の充実**
- III 高齢者が安心して暮らせるまちづくり**

このロードマップにおいて、その中でも特に重点的に取り組む項目や、その他の市政運営に係る重要な事項について、いつ検討し、いつやるのか、という行程を具体的に表しました。

浜田市長 久保田 章市

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

重点政策Ⅰ：産業振興、企業誘致などによる雇用の場の確保

No.	項目	目的・目標	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1	水産業の活性化	10年後に水揚高100億円達成	実施した内容 1 漁船老朽化対策を含めた地元漁船の確保・存続対策 (1) 沖合底曳網漁業5ヶ統の存続対策(リシップ事業～対象4ヶ統) ①A船団～リシップ事業開始(8月) ②B船団～リシップ事業開始(8月) ③C及びD船団～経営体及び関係機関との協議の実施 (2) まき網漁業2ヶ統の存続対策 ①まき網漁業の改革に向けた課題の整理と方向性の検討 ・地元経営体へのヒアリング実施 ・関係機関との協議の実施	○	○	計画 1 漁船老朽化対策を含めた地元漁船の確保・存続対策 (1) 沖合底曳網漁業5ヶ統の存続対策(リシップ事業～対象4ヶ統) ①A船団～実証事業(2年目) ②B船団～実証事業(2年目) ③C及びD船団 ・経営体及び関係機関との協議(リシップ工事の時期・内容、実証事業の内容) ・方針決定 ・C及びD船団リシップ工事 ・C及びD船団実証事業開始 (2) まき網漁業2ヶ統の存続対策 ①まき網漁業の改革の方向性協議・決定 ・関係者との協議 ②まき網漁業構造改革計画の策定 ・地元経営体、関係機関との協議 ・改革計画策定	A船団実証事業 B船団実証事業 C船団実証事業実施 D船団実証事業実施 水産庁による改革計画認定 まき網漁業構造改革計画に基づく事業実施	事業完了 事業完了 事業完了 事業完了

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

	2 市場施設、設備等の整備 (1)市場(荷捌所等)受入設備整備に向けた検討 ①高度衛生管理型荷捌所及び新荷捌所の整備 ・関係者協議の実施 ・方針決定 ⇒整備主体は市として、高度衛生管理基本計画策定を水産庁へ依頼	○	○	2 市場施設、設備等の整備 (1)市場(荷捌所等)受入設備整備に向けた検討 ①高度衛生管理型荷捌所及び新荷捌所の整備 ・水産庁による高度衛生管理基本計画の策定 ・計画に関する県・JFしまねとの協議 ・補助事業採択のための資料作成 ・整備計画の策定	整備計画に基づく事業実施
	(2)冷凍冷蔵庫の整備検討 ・既存冷凍冷蔵庫業者等への聞き取り ・市外施設の調査、研究	△		(2)冷凍冷蔵庫の整備方針策定 ・市外施設の事例研究、検証 ・整備方針の検討 ・方針決定	整備方針に基づく支援等の実施
	3 漁港エリア活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①検討組織の設置 ・地域プロジェクト連絡会議開催 ・瀬戸ヶ島埋立地活用研究会設置 ②瀬戸ヶ島埋立地活用基本方針(素案)作成 ・委託事業者の決定 ・瀬戸ヶ島埋立地活用研究会開催(計6回開催予定) ・関係者への説明・協議	△		3 漁港エリア活性化対策 (1)瀬戸ヶ島埋立地の活用 ①基本方針作成 ・基本方針(素案)の作成 ・パブリックコメント実施 ・関係団体や地元への説明 ・関係機関協議 ・基本方針の確定 ②方針に基づく事業実施	方針に基づく事業実施
	(2)しまねお魚センター活性化 ・関係者(会社・テナント)協議 ・再建に向けた方針決定 ・リニューアルオープン(12/20)	○	△	(2)しまねお魚センター活性化 ・広島方面への水産物PR強化 ・観光バスの誘致活動 ・賑わいイベントの開催 ・活性化取組みの中間検証	中間検証に基づく取組み
	(3)公設水産物仲買売場のあり方の検討 ・平成26年度未着手	×		(3) 公設水産物仲買売場のあり方の検討 ・類似施設の調査 ・関係者からの意見聴取	高度衛生管理型荷捌所及び冷凍冷蔵庫の整備動向、しまねお魚センターの中間検証を踏まえて、28年度以降に方針決定する。

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
2	儲かる農業の推進	・将来の浜田の顔となる農産物の育成 ・拠点農業団地などの優良農地の整備	実施した内容 1 浜田の顔プロジェクト (1) 振興作物の育成支援(1億円農産物の創出) ① 振興作物の決定 ・「大粒ぶどう」、「赤梨」、 「西条柿」の3作物を決定 (2) 加工品開発(農商工連携・6次産業化) ・地域と連携した振興作物の加工品開発の検討 (3) 販路拡大 ① 山陽地区・首都圏への販路拡大 ・バイヤーとの商談会参加 ・プロモーション販売の実施 ② 近隣市町との連携による販路開拓	○	△	1 浜田の顔プロジェクト (1) 振興作物の育成支援(1億円農産物の創出) ① 振興計画の作成 ② 専門機関による栽培技術、加工技術の調査研究 ③ 実験圃場等の整備 ④ 営農計画転換、新植・補植等への支援、補助 ⑤ ハウス等施設整備・改修への補助 (2) 農家所得500万円以上を目指す仕組みづくり ① 組合わせ作物の検討 ② 地域ぐるみで取り組む農業(集落営農組織、新規就農者など)への支援 ③ 集出荷施設等の整備 (3) 6次産業化の推進 ① 振興作物の6次産業化の推進 ② 農福連携の推進 (4) 販路拡大 ① はまだ産業振興機構との連携による販路拡大 ② 近隣市町との連携による販路開拓	継続実施 振興作物の普及 ・専門機関による栽培技術、加工技術の調査研究 ・実験圃場の設置、活用 ・営農プランの検討、作成 継続実施 加工品の試作、販売 継続実施 継続実施	
			2 大規模な農業団地の整備(元谷団地の開発) ・事業実施計画(造成等)の作成 ・用地取得(12月)	△		2 大規模な農業団地の整備(元谷団地の開発) (1) 県営事業着手(畑地35haの圃場整備) ① 現地測量、実施設計 (2) 支障物撤去	振興作物の流通システムの構築 継続実施(平成30年度供用開始予定) 入植者の募集(認定農業者、新規就農者等)	

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		評価	総合 評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
3	「ようこそ！浜田」運動の推進	観光・交流人口の増進	実施した内容	1 観光資源の発掘及び観光コースの企画 (1) 浜田の「お宝」掘り起こしと情報発信機能の充実 ・公募による「宝さがし」実施（5月～6月） ・応募者数203名、応募総数473件、お宝件数312件 ・観光コースを10コース作成 ・ホームページ掲載、チラシの窓口設置 (2) 観光コースおすすめ企画及びモニター検証の実施	○ △	計画	1 観光資源の発掘及び観光コースの企画 (1) 浜田の「お宝」掘り起こしと情報発信機能の充実 ① 浜田の「お宝」の情報発信 ・観光コースマップの拡充 ・ホームページ更新（随時） (2) 観光コースおすすめ企画及びモニター検証の実施 ・モニター検証の実施 ・観光コースのブラッシュアップ	継続実施	
				2 交流人口増加の仕組みづくり (1) 浜田市合宿等誘致事業の実施 ・合宿件数76件、宿泊数2,922泊（12月現在） (2) 研究学会、シンポジウム等の誘致 ・コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーンの誘致（参加者364名） ・広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム実行委員会設置 ・浜田でコーヒーを楽しむ会実行委員会設置 ・「コーヒー学入門」開催（参加者約140名） ・自転車ロードレース大会の開催効果の検証 ・ユネスコ和紙シンポジウムの誘致活動	○ ○		2 交流人口増加の仕組みづくり (1) 浜田市合宿等誘致事業の実施 ① 営業活動 ② 助成制度の実施 (2) 研究学会・シンポジウム等の誘致 ① コスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーンの誘致 ② 広浜鉄道今福線を活かすシンポジウム開催 ③ 浜田でコーヒーを楽しむ会（仮称）開催 ④ ユネスコ和紙シンポジウム開催	継続実施	継続実施

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

				○	(3) 自治体との交流、協定 ① 邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業 ・「食」を通じた観光・文化交流協定締結(7月) ・島根ふるさとフェアで両市町のPRチラシを配布(平成27年1月) ・協定記念フォーラムの開催(平成27年2月) ② 松阪市との民間交流支援 ・宣長まつりへの参加(4月) ・「浜田市*松阪市友好会」設立総会(7月)			(3) コンベンション等の誘致 ① 受入体制づくり ・受入のワンストップ化 ② プロモート体制づくり ・ホームページの開設 ③ 営業活動 ・各種団体へのPR (4) 自治体等の交流、協定 ① 邑南町との「食」を通じた観光・文化交流事業 ・「食」を通じた観光パンフレットの共同作成 ・HPを使って食情報の紹介 ・講演会やおもてなし研修の開催 ・共同PR、イベント出展 ② 松阪市との交流協定検討	継続実施	
					3 「おもてなし」のまちづくり 上記1及び2に注力するため、平成27年度に取組み開始延期			3 「おもてなし」のまちづくり (1) おもてなしのスキルアップ ① おもてなし研修開催(年3回程度) (対象: 市内観光施設、宿泊業、飲食業、タクシー会社等) (2) 現地ガイドの育成・充実 ① 観光ボランティアガイド、観光関係者、地域住民等を対象として観光コースの現地研修を実施 ② 観光協会の体制強化(案内体制を検討、案内窓口機能の充実)	継続実施	継続実施 継続実施
				×						

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				評価						
4	若者や女性、シニア層の起業を支援	起業者の増加	実施した内容	1 起業マインドの醸成・起業支援 (1)起業セミナーの開催 ①女性の起業セミナー 「女性のための独立・創業セミナー」 ・開催：7～8月。計5回。 ・内容：ノウハウや知識習得、発表 ②若者からシニア世代の起業セミナー 「浜田を元気にする創業塾」 ・開催：11月～12月。計5回。 ・内容：起業実施力の醸成、発表	○	計画	1 起業マインドの醸成・起業支援 (1)起業セミナーの開催 ①段階的な啓発・育成プログラム ・創業セミナー実施 女性やシニアなど、対象を明確化したテーマ別セミナー ・成果発表、ネットワーク形成 公開型のプレゼンテーション 交流会開催によるネットワーク形成	『起業家セミナー』開催を継続 ・女性目線のプチ創業から、起業に必要な知識やノウハウ、資金計画等を学べるセミナーを実施。		
				(2)起業家育成・フォローアップ事業の展開 ①起業家育成・フォローアップ計画の検討 ②関係機関との連携 ・「浜田起業支援連絡協議会」の立ち上げ	△		(2)起業家育成・フォローアップ事業の展開 ①起業家育成・フォローアップの検討・実施 ・起業支援の補助事業実施 ②関係機関との連携			起業家・関係機関の連携を強化 起業を支援するための補助事業の実施 起業イベントの開催等を検討
				2 インキュベーション施設の整備 ・補助金による利用促進 ・神山町の視察			△			No.5「企業誘致」において適地の利用検討に包括するため削除

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価					
5	企業誘致	適地を確保し、企業誘致	実施した内容	1 適地の調査・検討(公共用地等調査) (1)適地リストを作成 ・土地:適地25件、やや適地26件 ・建物:適地 5件、やや適地 1件 (2)公共施設(廃校利用)調査・検討整備 ①後野小、佐野小の消防設備等を整備 ②廃校リストを作成 ・遊休施設活用候補 4施設	○	○	計画	1 適地の利用検討(公共用地等) (1)公共施設(廃校利用)調査・検討整備 ①調査・検討・整備の継続 ②浜田市ホームページで遊休施設活用候補の公募	適地の造成検討・必要に応じ、造成開始
				2 企業誘致活動 ・山陰合同銀行との企業誘致に係る成功報酬の協定締結(5月) ・後野小学校に東京のIT企業進出決定(27年2月) ・浜田市企業立地促進奨励金の規則の要件を緩和(27年2月)		○		2 企業誘致活動 ・島根県企業立地課及び山陰合同銀行との更なる連携強化 ・浜田市企業立地促進奨励金の周知(パンフレット作成、PR)	公共施設(廃校利用)調査・検討・整備事業 ・その他の公共施設(廃校利用)調査・検討・整備
								企業誘致活動の実施	

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価					
6	広島プロジェクトチーム事業	・販路拡大 ・浜田港利活用促進 ・企業誘致	実施した内容	1 販路拡大支援 (1)リーフレット作成 (2)販路拡大支援のため営業活動を実施 ・アプローチ件数:115件 ・取引成立件数:12件	○ ○	計画	1 販路拡大支援 (1)水産物の販路開拓 ①新規取引先の開拓に向けた営業活動 ・外食産業、スーパー、食品加工業者等 ②取引拡充を目的とした継続的なフォローアップ ③バイヤー招聘 (2)関係機関との連携、協力	・新規取引先の開拓 ・フォローアップを含め、継続した企業訪問の実施 ・関係機関との連携、協力	
				2 ポートセールス (1)アドバイザーの選任 :1名 (2)関係機関との情報共有、連携 ①会議への参加 ②セミナー等への参加、協力:2回 (3)企業訪問 ・広島県北部地域:1件 ・広島市内含む山陽地区他:37件 ・大阪:1件 ・東京:1件 ・岡山:1件	○ △ ○		2 ポートセールス (1)企業訪問 ①輸出入の状況調査 ②ビジネスマッチングの実施 (2)関係機関との連携、協力 ①貿易セミナーの開催:7月 ②アドバイザーとの情報交換会の開催:毎月	・企業訪問 ・関係機関との連携、協力 ・専門家、アドバイザーからの情報収集	
				3 企業誘致 (1)企業誘致のため営業活動を実施 ・アプローチ件数:42件 ・相談数件あり	△		3 企業誘致 (1)関係機関との連携、協力 ①企業情報の収集、共有 ②企業への継続的なアプローチ (2)誘致対象地の選定	・関係機関との連携、協力 ・誘致対象地の選定 ・積極的な情報収集	
7	萩・石見空港東京2便化の存続	利用者の拡大	実施した内容	1 萩・石見空港の利用促進 (1)サポーター企業数の登録推進 ・登録企業数 28社(4月7日)→204社(1月27日) (2)浜田市独自の利用促進補助金の導入 ・申請者数 723人(1月31日) (3)制度のPR ・ポスター作成 ・チラシを作成し、新聞折り込み配布 ・ケーブルテレビ番組で市長による利用呼びかけ	○ ○ ○	計画	1 萩・石見空港の利用促進 (1)サポーター企業数の登録推進 ・登録企業数拡大に向けたPR (2)利用促進補助金の継続 ・制度PR (3)利用拡大促進協議会の助成制度の拡充 ・サポーター企業の範囲拡大 ・ツアー企画奨励金の導入 ・修学旅行者の拡大	サポーター企業の登録推進 利用拡大促進協議会の助成制度拡充のための協議	

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

重点政策Ⅱ：子育て支援、教育の充実

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価				
8	子育てしながら働けるより良い環境づくり	・待機児童ゼロ ・子育て世帯の経済的負担軽減	実施した内容	1 待機児童ゼロに向けた取組み (1) 保育士の処遇改善 ・市内全認可保育所26園で国制度事業の取組み実施 (2) 保育士確保 ・保育士修学資金貸付の実施 ・島根県貸付への上乗せ貸付及び償還免除規定を定める ⇒貸付決定5名 (3) 0歳児受入促進 ・施設での保育士確保での受入拡充へ助成実施(22園) ・産休・育休復帰入所希望調査	○ ○ ○	○	1 待機児童ゼロに向けた取組み (1) 保育士処遇改善 ① 子ども・子育て支援事業に基づく事業実施(国制度活用) (2) 保育士確保 ① 保育士修学資金貸付事業【継続】 ・月額2万円又は3万円を2年間貸付 (3) 0歳児受入促進 ① 保育士追加配置補助【継続】 ② 事業検証	継続実施 継続実施 成果を踏まえた事業再検討
				2 子育て世帯の経済的負担軽減 (1) 保育料の軽減 ・第3子以降保育料軽減の年齢制限撤廃(軽減対象373名(2月現在)) (2) 医療費の負担軽減 ・現行「小学校6年生まで」の児童医療費助成対象者を「中学校3年生まで」に拡充することに向けた検討・準備 ・拡充対象者への申請案内(平成27年1月) ・資格者証の送付(平成27年3月予定)	○ ○	○	計画 2 子育て世帯の経済的負担軽減 (1) 保育料の負担軽減 ① 第3子以降保育料の軽減拡充【継続】 ・保育料国基準6割以下の水準維持 (2) 医療費の負担軽減 児童医療費助成対象者を「中学校3年生まで」に拡充実施 ・4月診療分から助成開始 自己負担限度額 入院：2,000円／月 通院：1,000円／月	継続実施 継続実施 効果検証

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

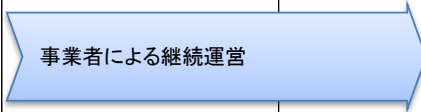
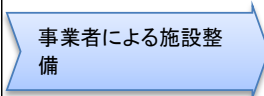
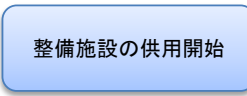
No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価				
9	「読書」と「作文」を中心とした国語教育の充実	多くの知識と豊かな想像力を養い、考える力、論理的思考、表現力を育む	実施した内容 1 国語教育の充実 (1) 読書・作文活動の推進 ・読書ノートを全児童生徒に配布 ・学校図書館貸出冊数(3月末集計、H25年度:小:平均57冊、中:平均15冊) ・学校訪問による学校図書館支援員等への支援・アドバイス実施 (2) 学校図書館の活用促進 ・教員、学校司書等を対象の図書館活用教育の研修会実施(8回) ・学校図書館活用教育研究指定校(2校)での公開授業を実施(14回) ・小中学校 調べる学習コンクールを実施(応募作品:161点) ・学校図書館活用教育授業の指導主事による学校訪問指導を実施 (3) 国語を中心とした授業改善 ・教員(3名)の福井市視察研修及び公開授業・視察報告会の実施(3回) ・示範授業(5年国語)による授業力向上研修を実施(92名参加) ・新しい学びプロジェクト(協調学習)研修会を実施(21名参加) ・協調学習公開授業(4年算数)を実施(25名参加) ・家庭学習ノートコンテストを実施(応募ノート 133点) ・好事例をまとめたパンフレットを市内全ての児童生徒に配布	○ ○ ○	計画 1 国語教育の充実 (1) 読書・作文活動の推進 ・読書ノートを全児童生徒に配布 ・学校図書館貸出冊数(年間目標:小学生60冊、中学生15冊) ・学校訪問による学校図書館支援員等への支援・アドバイスの実施 (2) 学校図書館の活用促進 ・教員、学校司書等を対象の図書館活用教育推進の研修会の開催 ・学校図書館活用教育研究指定校(4校)での公開授業の実施 ・小中学校調べる学習コンクールの実施 ・学校図書館活用教育授業の指導主事による学校訪問指導の実施 (3) 国語を中心とした授業改善 ・教員による先進地視察研修及び公開授業・視察報告会の実施 ・スーパーティーチャー示範授業による授業力向上研修の実施 ・新しい学びプロジェクト(協調学習)研修会の実施 ・協調学習公開授業の実施 ・家庭学習ノートコンテストの実施し ・よい事例をまとめたパンフレットを市内全ての児童生徒に配布	読書ノート配布 学校図書館訪問 学校図書館支援センターだより等による啓発活動 指導主事派遣・研修会実施 調べる学習コンクール実施 学校図書館活用教育指定校事業 コアティーチャー研修・スーパーティーチャー研修 新しい学びプロジェクト(協調学習)研修の実施 家庭学習ノートコンテスト	成果を踏まえた事業の再検討 成果を踏まえた事業の再検討 成果を踏まえた事業の再検討	

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
10	ふるさと郷育推進	ふるさとを愛する子どもを育てる	実施した内容	○ ○ ○	○	計画	郷育事業の本格実施	成果を踏まえた事業再検討

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

重点政策Ⅲ：高齢者が安心して暮らせるまちづくり

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価					
11	入所施設の拡充	施設入所待機者の縮減	実施した内容	1 入所施設の拡充 (1)第5期介護保険事業計画の実施 ①特別養護老人ホーム(30床)整備 ・平成27年3月開設予定(長沢町)	○	計画	1 入所施設の拡充 (1)第5期介護保険事業計画 ①整備施設の供用開始		 
				(2)第6期介護保険事業計画の策定 ①特養老人ホーム整備(30床) ②認知症対応型グループホーム整備(18床) ③複合型サービス又は小規模多機能型居宅介護施設整備(1事業所)	○		(2)第6期介護保険事業計画 ①整備事業者の募集(広域) ②整備事業者の選定(広域) ③事業者による施設整備		

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価					
12	高齢者の交通手段の確保と改善	高齢者が安心して通院や買い物ができる交通体系の構築	実施した内容	1 支援が必要な地域での高齢者補助制度の構築 (1)制度の準備(5～9月) ・浜田市地域公共交通活性化協議会で検討、決定 (2)「敬老乗車券交付事業」の試行開始(10月) ・対象者へ申請書、チラシの送付 ・出張販売 (3)利用実態調査・効果の検証 ・初回申請時のアンケート調査 ・3か月経過後の追跡調査(27年1月)	○	計画	1 支援が必要な地域での高齢者補助制度の構築 (1)引き続き「敬老乗車券交付事業」の試行的実施(9月30日まで) (2)利用実態調査と効果の検証 (3)平成28年度以降の支援制度の拡大の検討	再構築・本格実施	
				2 地域公共交通再編 (1)島根県立大学の協力を得て、地域公共交通の再編研究 ・県立大学教員との協議・検討(コンサルへ調査研究・検討業務を委託) ・路線バス乗降調査(11月) ・市内高校生アンケート調査(27年1月) (2)再編方針の検討 ・県立大学教員及びコンサルからの提案を基に平成28年度以降の交通再編方針を検討	○ △		2 地域公共交通再編 (1)地域公共交通再編計画の策定(10月) ・策定主体: 浜田市地域公共交通活性化協議会(年4回開催予定) ・パブリックコメント(9月)	地域公共交通の再編を順次実施(路線バスの見直し、高齢者向け交通手段の実施等)	

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

市政運営に係る重要な事項

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				評価						
13	浜田那賀方式自治区制度の見直し	新制度の方針決定及び実施	実施した内容	1 浜田那賀方式自治区制度の見直し (1) 自治区制度公聴会 〔時期〕 7～8月 〔場所〕 全8会場 ・浜田自治区 4会場 ・金城自治区 1会場 ・旭自治区 1会場 ・弥栄自治区 1会場 ・三隅自治区 1会場 (2) 議会との意見交換 ・議会特別委員会(10月) (3) 「今後の自治区制度についての方針」の公表 ・議会全員協議会(11月) ・地域協議会合同会議(11月) (4) 「新自治区制度等についての修正と説明(案)」の意見交換 ・地域協議会合同会議(27年1月) ・議会全員協議会(27年2月)	○ △	△	計画	1 浜田那賀方式自治区制度の見直し (1) 自治区設置条例等の改正(予定) (2) 新自治区制度の周知	新自治区制度の実施(平成32年3月末まで)	
14	島根県立大学に学部増設の提案	水産分野や地域政策分野などの学部・学科の設置	実施した内容	1 島根県立大学に学部増設の提案 (1) 提案内容の検討 ・島根県立大学との協議 ・島根県との協議 ・市議会説明 ・地元選出県議説明 ・県内市長・周辺町長説明 ・関係団体説明 (2) 関係者に対し提案 ・島根県立大学支援協議会で「地域政策学部増設」要望書を承認 ・島根県知事に要望(8月) ・県立大学理事長に要望(8月)	○ ○	○	計画	1 島根県立大学の学部増設に向けた取り組み ・島根県立大学の検討状況の把握と早期実現への協力 ・引き続き要望活動	・島根県立大学の検討状況の把握と早期実現への協力 ・引き続き要望活動	

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価					
15	市民のごみ排出負担の軽減（ごみ袋の簡素化など）	5種類13サイズのごみ袋の簡素化など	実施した内容	1 ごみ袋の簡素化 (1) 県内他市の状況調査 ・県内他市ごみ袋サンプル収集 ・状況聞き取り及び意見交換 現行のごみ袋の種類、分別における問題点等を整理 (2) 住民説明及び意見聴取 環境清掃指導員説明会において方針説明及び意見聴取し、環境清掃対策審議会へ報告 (3) 環境清掃対策審議会における検討 ・審議会開催(計3回) ・市長への中間報告を受けパブリックコメント中止 ・7月に審議会から「簡素化については、慎重に対応すべき」との答申を受ける ⇒ごみ袋の簡素化中止を決定	○	計画	1 エコクリーンセンターを活用したごみ分別の簡素化について江津市と協議 ※廃プラスチック類を可燃ごみとして焼却処理することなど	引き続き検討	
				○	×		2 ごみ分別の簡素化 ごみ排出負担の軽減を図るため、ごみ分別の簡素化を検討		

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		総合評価		平成27年度	平成28年度	平成29年度
				評価					
16	浜田開府400年記念事業	浜田市の歴史・文化の魅力を再認識し、発信する	実施した内容	1 浜田城周辺整備基本方針(案)作成 (1)庁内連絡会議開催 ○ (2)基本方針作成業務に係る補正予算案を9月議会定例会に上程し、可決 ○ (3)委託事業者を11月に決定し、基本方針(案)の作成に向けた検討・協議 ○ (4)基本方針(案)の作成以下の3項目に取り組む ・浜田城周辺整備事業 ・(仮称)浜田歴史館整備事業 ・(仮称)石見神楽館整備事業(御便殿活用) ⇒議論が不十分であり、年度内作成は見合わせ ×	△	計画	1 浜田城周辺整備事業 (1)基本方針作成 ・基本方針(案)に対する意見募集 ・(仮称)浜田城周辺整備検討会の設立 ・基本方針の確定 (2)浜田城周辺整備事業 ・関係機関との協議 (3)(仮称)浜田歴史館整備事業 ・関係機関との協議 (4)(仮称)石見神楽館整備事業(御便殿活用) ・関係機関との調整 2 浜田開府400年イベント事業 ・イベント検討 ・計画立案 ・プレイベント実施	関係機関との協議 事業実施(平成30年度完成目標)	関係機関との協議 事業実施(開府400年の平成31年度開館目標) 関係機関との協議 事業実施(平成31年度開館目標) イベントの準備
									平成 実 施 31 年

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

No.	項目	目的・目標	平成26年度		評価	総合 評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
17	市街地の 賑わい創 出	魅力ある都 市づくり	実施した 内容	1 瀬戸ヶ島周辺整備 (海、お魚を活かした魅力ゾーン) No.1「水産業の活性化」参照		△	1 瀬戸ヶ島周辺整備 No.1「水産業の活性化」において瀬戸ヶ島埋立地の活用を明記のため削除			
				2 浜田城周辺整備 (文化・歴史ゾーン) No.16「浜田開府400年記念事業」 参照		△	2 浜田城周辺整備 No.16「浜田開府400年記念事業」において浜田城周辺整備事業として分割 (1)関係機関との協議	事業実施 (園路、駐車場、御便殿改修、トイレ等整備)		
				3 浜田駅周辺整備 (市民が集う商業賑わいゾーン) ・整備構想立案 ・関係機関協議 ・一部用地取得(君市踏切周辺)		○	計画	3 浜田駅周辺整備 (1)南北道路整備 ・詳細設計 ・関係機関協議 (2)賑わいゾーンの創出 ・土地利用検討	設計に基づき、事業実施 基本構想作成	
								追加: 4 市役所周辺整備(シビックコア) (1)関係機関協議、要望	基本構想作成 関係機関協議、要望	関係機関協議、要望

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

自治区の事項

【金城自治区】～農業と観光によるまちづくり～

No.	項目	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
18	1 農業振興	1 農業振興 (1)元谷団地の開発 ①事業計画作成 ②用地取得(75ha) (2)農業サポート経営体の設立 ①みどりファームかなぎ設立(27年1月) (3)農業振興サポート事業 ①鳥獣害被害防止補助 ②農業用施設整備補助 (4)県営基盤整備(実証実験)伊木地区 ①用水路パイプライン化、排水路暗渠化、畦畔芝生化 ②老朽溜池整備	○	○	1 農業振興 (1)元谷団地の開発 ①事業着手(35ha) (2)農業サポート経営体を核にした農地保全 ①作業受託 ②担い手との連携 (3)農業振興サポート事業(27年度完了) ①鳥獣害被害防止補助 ②農業用施設整備補助 (4)県営基盤整備(実証実験)伊木地区 ①用水路パイプライン化、排水路暗渠化、畦畔芝生化 ②老朽溜池整備	継続実施(平成30年度供用開始予定)	
	2 観光交流	2 観光交流 (1)美又温泉の再生 ①温泉旅館のおもてなし向上対策 ②モデル旅館選定及び取組開始 ③温泉街路比較設計 ④景観まちづくり住民会議の発足 ⑤公的施設の方向性検討 ⑥歓迎塔看板リニューアル ⑦美又再開発用地の取得 ⑧(株)ポーラとのコラボ企画 (2)交流人口拡大に向けた取組み ①金城スマートICでの観光イベント ②全国障害者馬術大会開催 ③ライディングパーク研修棟改修 (3)パークゴルフ場の研究調査 ①先進地視察 ②美又温泉との連携協議	△	△	2 観光交流 (1)美又温泉の再生 ①温泉旅館のおもてなし向上対策 ②モデル旅館取組みを他の旅館へ波及 ③温泉街路施工 ④景観まちづくり合意形成 ⑤公的施設の方向性検討 ⑥(株)ポーラとのコラボ企画 ⑦美又温泉保養センター直営 (2)交流人口拡大に向けた取組み ①きんたの里大規模修繕 ②パラリンピックキャンプ地の誘致 ③LAGP2015HamadaRound開催(ランバイク大会) (3)パークゴルフ場整備の検討	温泉旅館のレベルアップ、景観づくり	
						継続実施	
							事業検討(利用者1万人をめざした取組み)

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

	3 まちづくり	3 まちづくり (1)個性を活かしたまちづくり活動の推進 ①地域提案型チャレンジ事業補助金 ・地域づくり活動 … 5団体(3,000千円) ・条件整備 … 1団体(550千円) ・組織・人材育成 … 2団体(600千円) ・検討委員会(12月)	○	○	3 まちづくり (1)個性を活かしたまちづくり活動の推進 ①地域提案型チャレンジ事業補助金 ・地域づくり活動 ・条件整備 ・組織・人材育成 ・検討委員会(2回/年) ②ポストチャレンジ事業補助金 ・次期制度の検討	検討に基づいた支援の実施	
--	---------	---	---	---	--	--------------	--

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

【旭自治区】～旭インターを核としたまちづくり～

No.	項目	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
19	1 農業振興	1 農業振興 (1)担い手の位置付けと守るべき農地の選定 ①人・農地プラン策定 ・旭全地区(公民館単位区)で策定 ・策定面積は481.6ha ②サポート経営体支援 ・経営検討会の開催 ・受委託の仕組みづくり支援 (2)山ノ内梨園産地強化対策 ①担い手の育成・確保に向けた協議	○	○	1 農業振興 (1)農地の保全 ①農地集積の推進 ・質の高い農地への基盤整備事業の実施 ②作業受委託の促進 ・サポート経営体への支援 ・中核担い手への支援 ・一般農家への周知 (2)山ノ内梨園産地強化対策 ①産地維持と担い手の育成・確保 ・改植支援の検討 ・加工品の開発検討	農地集積の加速化促進 基盤整備事業の継続 新規モデル事業検討 地区オペレーターの確保と支援体制の検討 担い手の育成・確保 計画的な改植への支援 加工品の試作誘導 温泉施設等との連携	
	2 観光交流	2 観光交流 (1)旭温泉の活性化 ①余剰温泉水の活用 ・ビジネスプランコンテストの実施(27年3月) ②集客向上の検討 ・パークゴルフ場の視察及び研究調査 ・あさひ温泉との連携協議 ③あさひ荘リニューアルオープン(8月)	△	△	2 観光交流 (1)旭温泉の活性化 ①温泉水コンテスト提案採用者への事業実施支援 ②パークゴルフ場整備の検討 ③旭温泉集客アップ検討 ・周辺誘客施設との連携	提案に基づく事業導入支援 事業検討(利用者1万人をめざした取組み) 泊まりやすい施設へのリニューアル事業支援検討(バリアフリー等)	旅館施設との連携
	3 まちづくり	3 まちづくり (1)未利用施設の利用検討 ①旧木田小学校施設等改修工事(27年2月完成) ②旧今市分校改修設計 ③旧和田小学校を和田公民館として利用 (2)集落再編 ①集落での持続可能性の検討	○	△	3 まちづくり (1)未利用施設の有効利用 ①木田・暮らしの学校(仮称)プレオープン ②旧今市分校の整備 ③旧和田小学校消防施設等整備 (2)集落機能の強化 ①現行60集落の再編支援策の実施	法人化による本格稼働 有効利用のための関係機関との連携 更なる再編の促進と効果の検証	

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

【弥栄自治区】～農業生産と加工・体験交流による定住促進～

No.	項目	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
20	1 農業振興	1 農業振興 (1)農業振興 ①有機農業者の育成 ・施設野菜生産者協議 ・定例会議の開催 ・先進地視察の実施 ②弥栄米のブランド化 ・集落営農組織との協議 ・集落営農推進協議会の設立 (2)農産品加工 ①農産物の利用 ・町内農産加工品の取りまとめ ・町内農産加工グループ協議 ・どぶろく振興協議会の強化 ②鳥獣肉加工処理施設検討 ・処理施設先進地視察 ・ジビエサミット参加	○	○	1 農業振興 (1)農業生産 ①有機野菜農家の育成 ・農家所得500万円を目指す野菜農家モデルの決定 ・堆肥センターを活用した土づくり ・ハウス団地整備計画 ②弥栄米のブランド化と奨励作目 ・集落営農組織生産者協議会 ・食味値80以上を目指した栽培方法の統一 ・転作作目(大豆、ソバ)の推進 (2)農産品加工 ①農産加工品の増産支援 ・やさか加工グループの立ち上げ ・どぶろく、味噌、いぶり香香、漬物類の加工増産 ②イノシシ肉加工 ・イノシシ肉加工処理施設の新設 ・精肉処理加工	事業計画の推進、活動継続支援	事業計画の推進、活動継続支援
	2 観光交流	2 観光交流 (1)交流人口の増加の仕掛けづくり ①弥栄の食材・地域資源(人)の活用 ・三國シェフによる研修会開催 ・全国どぶろく研究大会への出品 ・新メニュー考案(ソバと地元食材) ②ツーリズムの拠点づくりの検討 ・めぐりん四季の体験交流 ・弥栄ええとこ歩きの実施 ・大学フィールドワークの実施 (2)ふるさと体験村の利用促進 ①宿泊者の増加への取組み ・地域と連携した体験(癒し、合宿、研修)メニュー構築 ・情報発信への取組み	○	△	2 観光交流 (1)体験交流 ①ふるさと体験村を活用した交流イベント ・四季の体験交流イベント ・ジビエ料理の提供 ・新そば、新米どぶろくイベント ・体験村HP更新 ②ツーリズムの推進 ・宿泊・滞在型体験プログラム ・大学フィールドワークの受入れ (2)ふるさと体験村の利用促進 ①宿泊者の増加への取組み ・民泊との連携による宿泊型体験交流の実施 ・体験村HP更新による体験メニューの情報発信	事業計画の推進、事業実施	継続実施

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

3 まちづくり	3 まちづくり (1) 定住促進 ① 弥栄に住み続けるための環境整備 ・住みよい集落づくり事業による集落活性化支援 ・定住サポート推進員の設置 ・住宅の新築及び改修への支援 ・高等学校等への通学費への支援 ② 住民主体のまちづくり推進 ・まちづくり推進委員会への活動支援 ③ 農業研修生の受け入れ ・農業人フェアへの参加 ・農林業支援センター ④ 新規就農者の育成 ・研修受け入れ先との協議連携 (2) 災害に備える体制づくり ① 地域防災力の強化 ・自治区内防災体制の整備 ・モデル地区での防災対応型訓練の実施 ・避難行動要支援者名簿の作成	○	△	3 まちづくり (1) 定住促進 ① 弥栄に住み続けることへの環境整備 ・住みよい集落づくり事業による集落活性化支援 ・定住サポート推進員の設置 ・住宅の新築及び改修への支援 ・高等学校等への通学費への支援 ・新たな定住対策支援について検討 ② 住民主体のまちづくり推進 ・まちづくり推進委員会への活動支援 ・まちづくり組織の再構築に向けた関係団体との協議、組織化準備 ③ 農業研修生の受け入れ ・農業人フェアへの参加 ・農林業支援センター ④ 新規就農者の育成 ・研修受け入れ先との協議連携 ・優良農地の確保 ・空き家バンク情報提供 (2) 災害に備える体制づくり ① 地域防災力の強化 ・自治区内防災体制の整備 ・集落における防災体制構築への支援 ・避難行動要支援者の個別計画の作成	検討に基づいた実施 組織化及び事業計画の策定、活動支援 継続実施 継続実施	事業計画の推進、活動支援
---------	---	---	---	---	---	---------------------

「元氣な浜田」3つの重点政策のロードマップ

【三隅自治区】～地域に根ざしたまちづくり、三隅発電所を核としたまちづくり～

No.	項目	平成26年度	評価	総合評価	平成27年度	平成28年度	平成29年度
21	1 産業振興	1 産業振興 (1)石州半紙の振興 ①ユネスコ無形文化遺産再登録 ・本美濃紙、細川紙との連携協議 ②新商品化と販路開拓の検討 ・過去の新製品開発に関する企画書のデータ化 ・和紙技術会との協議・課題整理 ・ふるさと寄付の商品登録 ・千葉すずさんの「PR大使」委嘱 ③「碧い石見の芸術祭」との協働 ・美術大学学生の画材活用の検討 ・和紙デザインコンペの開催と製品化検討 ④原材料「楮」の確保 ・原材料の確保対策のための楮栽培(30a) (2)特産品「西条柿」の振興 ①灌水施設等の整備 (平成26年～29年) ・生産向上のための耕作地の整備 ②地元生産者との協議 ・新商品化と付加価値化、販路開拓の研究 ・後継者と労働力不足の検討 ③販売促進の検討 ・三隅特産品販売センター(道の駅)活用	○	○	1 産業振興 (1)石州半紙の振興 ①「ユネスコ無形文化遺産」登録3団体によるイベントの開催 ②新商品化と販路開拓の検討 ・和紙技術会との協議 ・ふるさと寄付の登録商品の充実化「和紙人形等の後継者育成」等 ・新製品開発プロジェクトの開始 ③「碧い石見の芸術祭」との協働 ・美術大学学生の画材活用のPR ・デザインコンペの商品化に取組み ・デザイナーとの連携と協力の確立化 ④原材料「楮」の植栽 ・楮栽培(70aを計画)	継続実施 (浜田市でイベント実施)	継続実施 (他市でイベント実施)
		実施した内容			計画	継続実施 継続実施 継続実施(30aを計画)	継続実施 継続実施(40aを計画)
						継続実施(平成29年度完了予定) 方針の決定 実施に向けた取組み	実施に向けた対応 実施

「元気な浜田」3つの重点政策のロードマップ

2 まちづくり		2 まちづくり (1)住民自治組織の構築と協働 ①地域の課題解決と地域づくりの推進 ・地域づくり実践のための各地域の計画書作成支援 ・各地域の課題解決のための支所支援(地域担当制) ・コミュニティ活動の支援 ②自治組織の活動拠点の整備 ・集会所の改修等の補助 ③災害・防災時の住民自治組織の体制 ・自主防災組織の設立支援 ・支所・地域・消防団との連携	○	○		2 まちづくり (1)住民自治組織の構築と協働 ①地域の課題解決と地域づくりの推進 ・地域づくり実践のための各地域の計画書作成支援 ・各地域の課題解決のための支所支援(地域担当制) ・コミュニティ活動の支援 ②自治組織の活動拠点の整備 ・集会所の改修等の補助 ③災害・防災時の住民自治組織の体制 ・自主防災組織の設立支援 ・支所・地域・消防団との連携	継続実施 補助要綱の検討 補助要綱の検討に基づき実施	
3 三隅発電所を核としたまちづくり		3 三隅発電所を核としたまちづくり (1)火力発電所2号機の早期着工 ①2号機建設の早期着工の働きかけ ②石炭灰を活用した造粒物の製造設備の設置	△	△		3 三隅発電所を核としたまちづくり (1)火力発電所2号機の早期着工 ①2号機建設の早期着工の働きかけ	継続実施	